

十八親和アートギャラリー

Juhachi Shinwa Art Gallery

学芸員 便り

当館で所蔵する作品を紹介します

春季企画展「花々の彩り」
6月1日(土)まで

花を主題とした油彩画と日本画による12作品を季節展示室、絵画展示室1、ホワイエにて公開中。朝比奈文雄の《薫風》はホワイエにて展示しています。

*企画展の会期は、次回展の都合により変更する場合があります



▲ 朝比奈文雄 《薫風》 油彩画 F120号

朝比奈文雄 (1914~1992)
東京生まれ。1932年小糸源太郎に師事し油絵を学ぶ。戦後は光風会展、日展を中心に作品を発表する。1949年に第5回日展(画室静物)で特選、第35回光風会展《お茶時》で岡田賞を受賞。日展会員、同審査委員、評議員を歴任した。

十八親和アートギャラリーの絵画コレクションの多くは昭和50年代頃までに収集されたもので、郷土画家のほか中央画壇で活躍した画家の作品も複数あります。この内、日展を中心に活躍した朝比奈文雄の作品は、長崎くんちの演し物を描いた《オランダ万才》や長崎の料亭を描いた《長崎のある館》などの大作に加え、国内外の風景画など7点を所蔵しています。

現在、春季企画展「花々の彩り」にて公開中の《薫風》は、120号の大きな画面の大半を登廊と呼ばれる屋根付きの階段が占め、その両脇に大輪の牡丹を色彩豊かに描いています。本作は「花の御寺」とも称される奈良県桜井市にある長谷寺を描いたものです。力強いタッチでひととき大きく描かれた牡丹からは、花々が埋め尽くす見事な光景とその感動を描き留めようとする画家の思いが感じられるようです。また、登廊の奥に見える緑と、中央に描かれた袈裟をつけたお坊さんの後ろ姿がアクセントとなり、作品をより味わい深いものとしています。

(十八親和アートギャラリー学芸員 藤松綾子)

十八親和
アートギャラリー

開館時間：10:00～16:00(入館は15:30まで)

休館日：日・月・祝日、年末年始(12/30～1/4)

※土曜日が祝日の場合は開館

長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F

鑑賞無料

TEL0956-23-4856

西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分

JR佐世保駅から徒歩約20分

